

神田外語大学

Kanda University of International Studies

留学生のための大学ガイド 2024

外国語学部/国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻



Learn about Japan, Learn about the World!

通过国际交流,学习日本!学习世界!

通過國際交流,學習日本!學習世界!

국제교류를 통해서 일본과 세계를 배울 수 있다!





国際舞台へ。



©ASAHI Shimbun Publications Inc.

神田外語大学は、 世界で活躍したいあなたを応援します。

神田外語大学外国語学部国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻では、国際舞台で活躍することを望んでいる留学生のみならずのために特別なカリキュラムを用意しています。それは、これまで英語をまったく学んでいない人でも、4年間の留学生活中に、高度な日本語運用能力と、少なくとも中級程度の英語を同時に習得することをめざしたプログラムです。これら二つの外国語に加え、この専攻では、異文化コミュニケーション・言語・コンピュータの3分野のアプローチから実践的なコミュニケーションを学びます。さらには、留学生と日本人学生がと

もに英語で日本の歴史や社会、文化などを多角的に学ぶ授業や、国際的な諸問題についての研究を深めることにより、教養豊かで対話能力に優れた人材を育成することを目標にしています。

また、英語の自立学習施設「SALC（サルク：Self-Access Learning Center）」や、英語でコミュニケーションができる「English Lounge」、図書館やその2階にある専攻言語の国や地域の街並みを再現した「MULC（マルク：Multilingual Communication Center）」など、各自のニーズに応じて学習環境を活用すれば、みなさんの希望は必ずかなえられるでしょう。

神田外語大学外国語学部には、英語、中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語の8つの言語を専攻する日本人学生が在学しています。これらの言語のいずれかを母語とするみなさんは、日本語のほか、母語を使って日本人学生と交流を深めることもできるでしょう。近代的空間に広がる緑豊かな幕張のキャンパスで、みなさんが楽しくも実り多い留学生活を送ってくれることを心から待ち望んでいます。



神田外語大学 学長
宮内 孝久 MIYAUCHI Takahisa

1950年東京都生まれ。早稲田大学法学部卒業後、三菱商事入社。88年サウジアラビア駐在、96年メキシコで塩田の経営を経験し、2013年に代表取締役副社長。16年の退任後、18年から現職。横浜市教育委員などを歴任し、現在は特定非営利活動法人国連UNHCR協会代表理事も務める。

ビジョン

KUIS aspires to a congenial world of respectful communication.

一人ひとりが言葉を通じたコミュニケーションにより、
お互いを認めあい尊重しあう、あたたかな世界をめざします。

ミッション

KUIS weaves a worldwide network of communication.

世界の言葉と文化を理解し、柔軟な心でコミュニケーションできる人。
思いやりの輪を広げ、世界の人々を笑顔にできる人。
神田外語大学から、世界に羽ばたかせます。

授業の特色 時代に求められる人材を育てるための4つのポイント

1

言語+「専門性」

真の言語を学ぶためにはその言葉が使われている国の歴史や文化など、その背景までを総合的に学ぶ必要があります。神田外語大学では、各国と地域の歴史や文化、そして政治・経済などの教養を専門的に学ぶ研究コースをすべての学科で導入。言語だけではなく、+αの知識やスキルを身につけることができます。



2

少人数

神田外語大学の授業はどれも少人数制が基本です。少人数だから先生との距離も近く、わからないところがあればすぐに聞けるので、着実に実力をつけることができます。もちろんクラスメイトとの距離も近いので、自然とコミュニケーションも活発になり、互いに刺激しあいながら成長していくことができます。



3

参加型

神田外語大学では、自ら授業に参加し学ぶ姿勢をもつことを大切にしています。自分の考えや研究したことをプレゼンテーションする機会も多く、考えをまとめて、人に伝えることが自然とできるようになっていきます。ここで身につけた力はあなたが社会に羽ばたいた後にも、必ず役に立つものとなるでしょう。



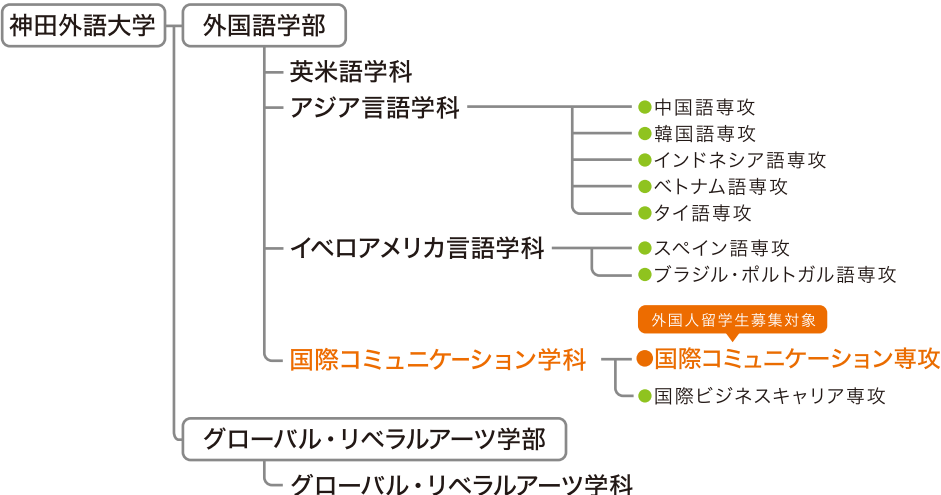
4

実践的

神田外語大学の授業は、単に言葉が話せるようになったり、知識を増やすためにあるものではありません。外国人の先生から、生きた言葉を学ぶこと。そして、企業で働いた経験をもつ先生から、ビジネスについて教えてもらうことなど。すべては、実社会で使える実践的な力をつけてもらうことを大切にしています。



学部・学科・専攻編成



CONTENTS

- p.1 学長メッセージ
- p.2 授業の特色
- p.3 履修課程(カリキュラム)
- p.5 時間割例・授業紹介
- p.6 就職
- p.7 留学生のための特別支援
- p.8 在学生の声
- p.9 6号館紹介
- p.10 7号館紹介
- p.11 8号館紹介
- p.13 入試情報
- p.14 インフォメーション
 - English 中文(简体)
 - 中文(繁体) 한국어
- p.16 大学院

表紙のモデルは本学の学部留学生の
チン・ソさん、イ・ジョンゴンさん、
レ・ティ・ハインさんです。

英語の運用能力を効果的に伸ばす 少人数制習熟度別クラス

英語クラス分け試験

入学時実施の英語習熟度別クラス分け試験により、英語のクラス分けをします。



英語を全く学んだことがない方～TOEIC®500点程度の英語運用能力をもった方対象

卒業時までには中級レベルの英語運用能力を身につけることをめざします。

入学時にTOEIC®500点程度以上の英語運用能力をもった方対象
より高度な英語運用能力を習得することをめざします。(英語中級者)

卒業要件単位数(科目群別)

外国語学部では、卒業に必要な単位数を124単位としています。この124単位の中で学科・専攻及び各科目群、また各自が所属する学科・専攻指定コースで定められた単位数を満たさなければなりません。

		留学生
外国語※	英語科目	16～26
	日本語	10～20
基盤教育科目		6
教養科目		10
研究科目	学科・専攻指定研究科目(必修+選択必修)	34
	研究科目(選択必修)	16
演習科目		4
自由選択科目		18
合計		124

※ 日本語科目と初中級までの英語科目は、基本的に留学生のみの特別クラスです。その他の科目は一部を除き、日本人学生との混合クラスです。

外国語科目

日本語

日本語特別演習
日本語総合講座
ビジネス日本語
日本語チュートリアル
日本語表現演習

英語初級・初中級

Guided Independent Study
Intermediate English
Academic Writing
Oral Communication
Communicative Grammar
Basic English(初級者のみ)

英語中級

Reading/Writing
English for International
Communication(EIC)
Media English
Advanced Reading
時事英語
ビジネス英語
Effective Language
Learning Course
Effective Learning
Module
TOEFL ITP®演習
TOEFL iBT®演習
TOEIC®演習

研究科目

国際舞台での活躍に不可欠なコミュニケーション能力を育成するための実践的な科目群

国際コミュニケーション入門 など

基盤教育/教養科目

現代社会に必要な幅広い教養や専門領域の基盤となる知識を身につける科目群

基礎演習	文学	法学	経営学	物理学
キャリアデザイン(基礎)	美術史学	政治学	統計学	自然科学概論
哲学	歴史学	経済学	生物学	体育・スポーツ
倫理学	言語学	心理学	化学	憲法
宗教学	社会学	教育学		

※開講科目は年度によって異なります。

おすすめ!

ビジネス日本語

1. 雇用する企業が外国人に求めている社会人としての基礎力とはどのようなものか。日本の業界について知識を深め、多様な視点から職業を捉える方法を理解していきます。
2. 就職活動のためのビジネス日本語と就職後に業務を円滑に行っていくためのビジネス日本語を身につけていきます。

日中通訳法

日中通訳者としての心構え、知識、基本技能など概論を学んだ上で、各種演習を通じて、通訳者としての実践力を身につけます。講義は演習が中心となりますが、演習においては、通訳能力の向上とともに日本語能力の向上につながるような方式を取り入れ、日本語のレベルアップを促すようにします。

日韓・韓日通訳法

日韓・韓日通訳者に不可欠な理解力、表現力について考えていきます。具体的には、時事用語に関する知識や会議通訳を想定したリプロダクション、シャドウイング等の訓練を行います。

日本語教員養成課程

必修科目20単位

本学独自の「日本語教員養成課程」の必要履修単位数は32単位で、民間のプログラムに匹敵する内容です。

必修科目20単位に加え、選択必修科目の中から12単位、合計32単位を修得すると、卒業時に『神田外語大学日本語教員養成課程 修了証』が発行されます。

日本語学概論
日本語教育概論
日本語教授法

選択必修科目12単位(区分)

社会・文化・地域
言語と社会
言語と心理

日本語教育実習
日本語学

自由選択科目

以下の科目のほか、「各科目群の要件を超えて修得した単位」が充た可能

情報基礎	国際ボランティア体験	韓国語	フランス語
日本語表現力基礎	外国語学習における個別学習指導論	インドネシア語	ドイツ語
キャリアデザイン	海外実地研修	ベトナム語	イタリア語
キャリア開発	検定試験(日本語・英語ほか)	タイ語	ロシア語
学習支援活動ボランティア	中国語	ポルトガル語	アラビア語
ビジネス・インターンシップ	スペイン語		



自分の興味に沿って研究計画をデザインできる 研究科目

下表の研究科目を通して専門知識を身につけ、さらに研究・応用演習(ゼミ)や卒業研究を履修することにより、自分で設定した研究テーマをじっくり探究します。

学科・専攻指定コース

コミュニケーション研究コース/国際・日本研究コース

所属コースで指定される

学科・専攻指定研究科目を履修します。

学科・専攻指定研究科目で34単位、
研究科目全体から16単位を履修します。
開講科目の詳細は、大学ウェブサイト上で公開している
シラバスをご覧ください。

英語学概論	児童英語指導法 (Reading&Writing)	韓国企業研究 I・II	ブラジルの民族・地理	児童英語教育実習
英国研究入門 I・II	児童英語指導法 (Listening&Speaking)	韓国近代史 I・II	ポルトガル語圏の世界 I・II	日本語学概論
米国研究入門 I・II	外国語評価法	韓国史特講 I・II	ポルトガル語学研究 I・II	日本語学 I・II
オセアニア研究入門 I・II	第二言語語用論	韓国現代文学研究 I・II	ブラジルの文化・芸術	日本語表現法 I・II
カナダ研究入門 I・II	応用言語学	東南アジア研究入門 I・II	ブラジルの宗教・社会	日本語教育概論
現代英文法	英文法指導研究	東南アジア地域研究 I・II・III	ブラジルの政治・経済 I・II	日本語教授法
英語音韻論	英語授業研究	東南アジア宗教論 I・II	ポルトガル語通訳・翻訳法 I・II	日本語教育実習
英語統語論 I・II	英米法と社会 I・II	東南アジアの宗教と文化 I・II・III	ポルトガル語圏総合研究 I・II	言語哲学 I・II
英語音声学	英米法と文化 I・II	東南アジアの芸術 I・II・III・IV	国際コミュニケーション入門	心理言語学
自然科学としての言語学入門	日米関係論 I・II	東南アジア言語概論 I・II・III	コミュニケーション論 I・II	通訳・翻訳への招待
英語通訳法 I・II	地域比較文化論 I・II	東南アジア史 I・II	Introduction to Japan Studies	英語通訳法 III・IV
世界の英語	英文学と文化 I・II	東南アジア社会論 I・II	異文化コミュニケーション論 I・II	英語映像翻訳法
社会言語学	米文学と文化 I・II	日本語ハブリック・スピーキング	日本語コミュニケーション論 I・II	通訳演習 (a) (b)
第二言語習得研究	英語圏歴史・政治講読 I・II	多文化社会コミュニケーション論 I・II	組織コミュニケーション論 I・II	翻訳演習 (a) (b)
認知発達と英語教育	タイバーシティ研究 I・II	組織コミュニケーション論 I・II	ジャーナリズム論 I・II	日中通訳法 I・II
児童英語教育論	フィルム・スタディーズ I・II	インドネシア研究入門	デジタル・メディアと社会 I・II	日韓・韓日通訳法 I・II
英国史概論 I・II	アジア研究入門	インドネシアの民族・地理	コミュニケーション研究法 I・II	非言語コミュニケーション論 I・II
英国社会・文化論 I・II	中国社会学事情 I・II	インドネシアの歴史	国際ビジネス・コミュニケーション論 I・II	デジタル・メディアと コミュニケーション I・II
英文学の歩み I・II	中国語学概論 I・II	インドネシアの政治・経済 I・II	国際関係論 I・II	ソフトウェアデザイン I・II
英連邦社会・文化論 I・II	中国思想概論 I・II	ベトナム研究入門	国際関係史 I・II	プログラミング I・II
米国史概論 I・II	中国文化概論 I・II	ベトナムの文化・芸術	日本語学概論 I・II	ウェブデザイン I・II
米国社会論 I・II	中国文学概論 I・II	ベトナムの民族・地理	日本語モジュールグループ・ コミュニケーション	グラフィックデザイン I・II
米国文化論 I・II	中国史概論 I・II	ベトナムの宗教・社会	日本語ディベート	日本の宗教
米文学の歩み I・II	中国現代史 I・II	ベトナムの政治・経済 I・II	対人コミュニケーション論	日本近代思想史 I・II
米国政治・外交論 I・II	中国経済概論 I・II	タイ研究入門	レトリカルコミュニケーション論	比較思想 I・II
米国経済論 I・II	中国政治外交概論 I・II	タイの文化・芸術	Leadership Communication I・II	キリスト教文化論 I・II
Public Speaking	中国語文法論 I・II	タイの民族・地理	メディアリテラシー	イスラム文化論 I・II
Approaches and Strategies in Learning English	中国語音韻論 I・II	タイの歴史	メディア文化論 I・II	日本芸能史 I・II
Outline of English Phonetics	中国語音声学 I・II	タイの宗教・社会	メディア表現論 I・II	文化について考える
Japanese Language and Culture	中国語学研究 I・II	タイの政治・経済 I・II	メディア・コミュニケーション表現 I・II	民族と文化 I・II
Introduction to Language and Communication	広東語 I・II	Topics in Language and Culture (東南アジア・イベロ)	国際開発論 I・II	文化人類学概論 I・II
Japanese Popular Culture I・II	福建語 I・II	イベロアメリカ研究入門	国際機構論 I・II	文化人類学研究 I・II
The History of Modern Japan	ビジネス中国語 I・II	イベリア史概論 I・II	国際協力論 I・II	文化学概論 I・II
Japanese Literature	中国語映像翻訳法 I・II	ラテンアメリカ史概論 I・II	国際マーケティング論 I・II	文化心理学 I・II
International Relations: Japan in a Global Context	中国語通訳法 I・II	スペイン文学史 I・II	国際社会論 I・II	健康科学論
Japanese Politics	日中比較言語 I・II	スペイン文学史 I・II	国際経営論 I・II	スポーツ文化論 I・II
Debate	中国文学史 I・II	スペイン語学概論 I・II	The History of Premodern Japan	ジェンダー論
TESOL海外研究	日中関係論 I・II	西洋古典概論 I・II(ラテン語)	Tourism and Local Cultures of Japan	演劇「実技」 I・II
Topics in British Studies I・II	中国現代文学研究 I・II	西洋古典概論 III・IV(古典ギリシア語)	日本倫理思想史 I・II	国際社会が見えてくる
History of the United States I・II	中国社会学研究 I・II	スペイン語音声学 I・II	国際法 I・II	国際法 I・II
Topics in Oceanian Studies I・II	中国経済研究 I・II	スペイン語の歴史と地理 I・II	民法概論 I・II	民法概論 I・II
Topics in Canadian Studies I・II	中国政治外交研究 I・II	日西語対照研究 I・II	人権論	法と国際ビジネス
Survey of American and English Literature	海外華人論 I・II	現代スペイン文学 I・II	国際平和論 I・II	国際平和論 I・II
Themes in American and English Literature	中国古典講読 I・II	現代ラテンアメリカ文学 I・II	日本政治論	日本政治論
Topics in Sociolinguistics	中国文学研究 I・II	スペイン語翻訳法 I・II	日本経済論	日本経済論
Issues in Second Language Acquisition	中国語翻訳法 I・II・III・IV	ポルトガル語学概論 I・II	日本大衆文化論	日本社会論
Issues in Applied Linguistics	中国語表現法 I・II・III・IV	ロマンス語学概論	民族・宗教問題研究	日本社会論
Pedagogies in Oral Communication	韓国文化概論 I・II	ラテンアメリカ政治論 I・II	多様性とコミュニケーション I・II	ヨーロッパ政治経済論 I・II
英国文化実地研究	韓国史概論 I・II	ブラジル研究入門	コミュニケーション論特講 I・II	アフリカ研究入門 I・II
米国文化実地研究	韓国語学概論 I・II	イベロアメリカの法と文化 I・II	脳・心とコミュニケーション I・II	地域研究
オセアニア文化実地研究	韓国語文法論 I・II	現代イベリア研究 I・II	Media and Japanese Society	社会調査法 I・II
カナダ文化実地研究	日韓対照言語研究 I・II	現代ラテンアメリカ研究 I・II	日本外交史	環境科学 I・II
英語オーラルインタープリテーション	韓国語学特講 I・II	ラテンアメリカ経済論 I・II	国際経済論 I・II	
英語を歴史的に見る	韓国語社会言語学 I・II	スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I・II	東アジア政治経済論 I・II	
日英翻訳法 I・II	韓国語意味論	スペイン語スピーチ・コミュニケーション I・II	Women's Studies in Japan	
英日翻訳法 I・II	韓国語史 I・II	スペイン語通訳法 I・II	企業研究 I・II	
国際共通語としての英語	韓国語史 I・II	スペイン語映像翻訳法 I・II	簿記会計 I・II	
日本語から英語を見る	日韓コミュニケーション研究 I・II	スペイン語学研究 I・II	ビジネスリサーチ演習 I・II	
英語意味論・語用論	韓国語映像翻訳法 I・II	スペイン語圏文学研究 I・II	ビジネス・インターンシップ I・II	
英語語法研究	日韓関係史 I・II	商業スペイン語 I・II	簿記会計 I・II	
英語話分析	韓国の宗教・社会 I・II	メキシコ研究 I・II	ビジネス・インターンシップ I・II	
英語会話分析	韓国映像文化論 I・II	スペイン美術史 I・II	マケティングリサーチ	
	韓国文化特定研究 I・II	スペイン文化研究 I・II	アントレプレナーシップ論	
	韓国政治論 I・II	スペイン時事研究 I・II	企業行動論 I・II	
	韓国経済論 I・II	ラテンアメリカ時事研究 I・II		
	韓国経済特講 I・II	ブラジルの歴史		

※ 一部の科目は、所属する学科・専攻や学科・専攻指定コース、履修課程などによって履修が制限される場合があります。
※ 開講科目は年度によって異なります。

標準的な時間割例

1年次前期

■ 外国語科目 ■ 研究科目 ■ 基盤教育科目 ■ 教養科目

英語初級者 (Basic English)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	09:00~10:30		日本語特別演習 国際コミュニケーション入門			
2	10:40~12:10		日本語チュートリアルI	日本語総合講座	Guided Independent Study I	
昼休み						
3	13:10~14:40	Basic English I			Basic English I	
4	14:50~16:20	日本経済論I	Basic English I	Basic English I		
5	16:30~18:00					

オンデマンド:基礎演習I

英語中級者 (Intermediate English)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	09:00~10:30		日本語特別演習 国際コミュニケーション入門			
2	10:40~12:10	Academic Writing I	日本語チュートリアルI	日本語総合講座	Guided Independent Study I	
昼休み						
3	13:10~14:40	コミュニケーション論I		Intermediate English I	経済学I	
4	14:50~16:20			Academic Writing I		
5	16:30~18:00					

オンデマンド:基礎演習I

英語中級者

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	09:00~10:30	EICI	日本語特別演習 国際コミュニケーション入門			
2	10:40~12:10		日本語チュートリアルI	EICI		
昼休み						
3	13:10~14:40	Reading/Writing I		EICI	日中関係論I	
4	14:50~16:20		Reading/Writing I	Reading/Writing I	Reading/Writing I	
5	16:30~18:00				EICI	

オンデマンド:基礎演習I



授業紹介 (抜粋)

※授業の内容は変更となる場合もあります。

*留学生のみの特別クラス

外国語科目(日本語)

日本語総合講座*、日本語特別演習*、日本語チュートリアル*

大学で勉強するためには、学習技術(読解、要約、批評、資料調査・整理、レポート作成、口頭表現、コンピュータ)を活用し、自分の頭で考え、自分の言葉で表現することが必要になります。これらの力を養成することをめざし、留学生対象日本語科目として、日本語総合講座、日本語特別演習、日本語チュートリアルが用意されています。

外国語科目(英語)

Basic English*、Intermediate English*

まったく英語を学んだことのない人から数年の学習歴がある人まで、習熟度別に3種の授業が用意されています。「聞く・話す・読む・書く」の4つの技能をバランス良く伸ばしながら、卒業時まで、実社会ですぐに役立つ実用的な中級程度の英語運用能力を身につけることをめざします。クラスはいずれも10数名程度の少人数です。レベルが上がるにつれ、ディスカッションやプレゼンテーションなどが多く取り入れられます。

外国語科目(英語)

English for International Communication (EIC)

英語の総合的な運用能力を高める科目です。旅行、音楽、海外生活、映画などの身近なテーマをとりあげ、英語での調査や口頭発表を通して、実践的な英語力の向上を図ります。

研究科目(一部紹介)

異文化コミュニケーション論

異文化コミュニケーションが自分探しの旅であるという出発点から、自分の文化・他の文化、そして世界との関わりを考え、アイデンティティの問題・異文化インタラクション・グローバル化とポストモダン社会における文化と人間について考えます。さまざまな文化・コミュニケーション現象についての基礎理論を学び、批判的に分析することをねらいとしています。そのため受講者には、積極的にクラス活動に参加することが求められます。

日本語パブリック・スピーキング

「情報を伝えること」と「説得すること」は、公の場におけるコミュニケーションの2つの大きな目的です。大学及び社会生活において、これらのコミュニケーションの場に立つ機会は頻繁にあります。本科目は、そのような状況でメッセージを効果的に伝え、説得力のあるプレゼンテーション(内容、話し方)を行うために必要なコミュニケーション理論を学び、プレゼンテーション活動(準備と発表)を通じてそれらを実践することにより、実社会で求められるコミュニケーション能力の育成をめざします。

国際経営論

経営のグローバル化という文脈の中で、経営学の基礎と経営の実践を学びます。環境のマネジメント、国際化の戦略、組織のマネジメント、国際経営と新しいビジネス・モデル、経営の国際化と日本企業の課題、経営とセキュリティなどを主要テーマとします。

日本経済論

戦後の復興から「日本の奇跡」と言われた高度経済成長を経て米国と並ぶ経済大国となった日本は、現在多くの困難に直面しています。これらの問題の中にはバブル崩壊後の金融不安、低成長と就職難、非正規社員増加と経済格差拡大、高齢化の急速な進行と年金問題など、私たちの現在・将来の生活に直接かかわるものも多くあります。本講義では、戦後の成長と景気循環を時代を追いながら概観し、日本経済の現状と課題を長期的・国際的な視野で位置付けるとともに、景気循環や中長期的な経済の動きについての基本的な見方を学びます。

日本社会論

現在、日本社会に起きている諸現象は「バブル崩壊後…」という言葉で説明されることが多く、バブルで日本社会は大きく変わったのです。バブルとは何だったのでしょうか。バブルを通じて、日本社会の変容を論じます。

日本近代史

幕末の開国から太平洋戦争敗戦にいたるまで、日本近代化の大きな流れを理解。さらには、近隣のアジア諸国の近代史に大きな影響をあたえてきた日本の役割を、政治的背景と異文化間の相互作用を中心に学んでいきます。

日本語学

音声はどのようにして発せられるのか、どのような音を私たちは用いているのか、そしてその音が言語の中でどのように位置づけられるのか、さらに日本語の音に関する概説をします。

国際関係論

アジア、中東、アメリカ大陸、ヨーロッパ、アフリカなど、世界で起きている毎日のニュースを読み解き、政治、経済、外交、環境、資源、人口など、現代社会を多面的にとらえる視点を身につけることを目標とし、毎日の国際ニュースを他人事ではなく自分の事として関心を持てるようにします。



高度な日本語と英語でコミュニケーションができる。 国際企業が求める人物像です。

大学卒業後は、日本で働こうと思っている方も少なくないでしょう。毎年、外国人留学生のうち7～8割が日本の国内企業への就職を希望し、実際に日本で働いています。2つ以上の言語を扱えるということは、日本企業にとっても大きな魅力です。留学生が日本企業の中に入って成功するかは、日本で過ごした4年間というバックグラウンドを、どう活かしていくかによるでしょう。キャリア教育センターのスタッフは、企業と学生の間に立って、より希望に沿った就職に向けてのお手伝いをしていきます。



学部留学生卒業後進路状況(2019～2021)

	2019	2020	2021
就職(日本国内 ^{※1})	13名	7名	11名
進学(日本国内)	0名	1名	0名
その他(日本国内)	0名	0名	0名
就職(海外)	0名	0名	0名
帰国 ^{※2}	1名	4名	0名
合計	14名	12名	11名

主な就職先(順不同)

(株)天行国際、日発(株)、イオン保険サービス(株)、C2C Galactic Academy(株)、(株)ジージェイエス、(株)プラムハット、翔和商事(株)、日本企画(株)、(株)スギ薬局、中新ソリューション(株)、サミット(株)、(株)時代屋、ヒューマンリソシア(株)、テックスエンジニアリング(株)、エデン(株)、イオンリテール(株)、(株)日建スペースデザイン、西安スターティアソフト(株)、(株)FMG、中国東方航空、東京クリエイティブ協同組合、テックダイヤ(株)、(株)相鉄アーバンクリエイティブ、Accenture (China) Co., Ltd.、(株)ファソテック、(株)エイチ・アイ・エス、(株)ウェザーニューズ ほか

※1 日本でビザを取得して就労
※2 進学等就職以外

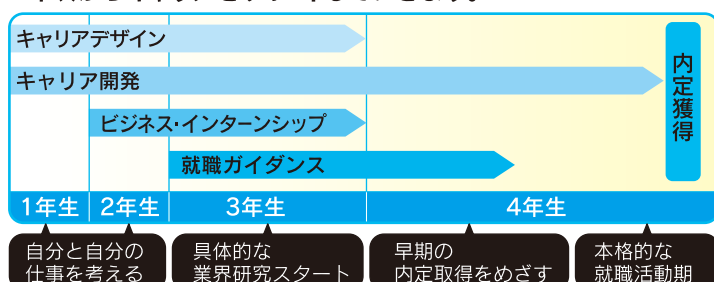


キャリア教育センター

自分の未来を見つけるための、多彩なサポート体制

大学教育で培ったさまざまな能力を、今後の人生でどう活かすか。そのために必要な知識と技法を学ぶのが、キャリア教育です。全学科の学生を対象に「キャリアデザイン」「キャリア開発」「ビジネス・インターンシップ」といった授業があり、1年生のときから、社会人の基礎力としてどのような能力が必要かを認識し、養成していきます。実際の就職活動に対しては、専門知識をもったスタッフが進路についての不安や疑問、就職活動の進め方など、あらゆる問題と一緒に立ち向かい、希望をもって社会へと旅立てるようサポートしています。

1年次からキャリアをサポートしていきます。



キャリアデザイン(2単位)

キャリアデザインとは人生設計のこと。大学卒業後の進路や就職、そのために必要な社会人としての基礎力とは何かを具体的に考えていく授業です。

キャリア開発(1単位)

キャリアデザインを入門編とすると、キャリア開発は応用編にあたります。社会で働く際に必要となる専門的な知識・スキルについて基礎から学びます。

ビジネス・インターンシップ(2単位)

夏休みや春休みに企業が実施するインターンシップに向けた準備を行います。「業界・企業研究」や「履歴書・ES作成」「面接練習」など、実践的な取り組みをしていきます。

就職ガイダンス(主に3年生対象)

●就職活動の進め方について ●就職支援システム登録の説明 ●業界研究 ●筆記試験模試 ●先輩体験談(内定者報告会) ●OB/OG交流会 ●エントリーシート攻略法 ●自己PRのしかた ●1日就職集中セミナー(面接対策など) ●学内合同会社説明会

留学生授業料等減免制度

留学生の全員が対象となる授業料減免などを基本とし、
神田外語大学独自の留学生授業料等減免制度を3種用意しています。

※国費留学生および留年した人は対象となりません。

留学生減免 1～4年次全員

授業料の50%(490,000円)と2～4年次の施設設備費80,000円が減免されます。

学費	入学金※	200,000円
	授業料	490,000円(50%減免後)
	施設設備費	240,000円(減免後)
諸会費等	学生会費	5,000円
	いしずゑ会費	10,000円
	学外宿泊キャンプ費	10,000円
1年次学納金(※含む)		955,000円/年
2～4年次学納金		755,000円/年

優秀減免 2～4年次の成績優秀者

各年次で最大6名。前年度履修した単位数、成績、教員推薦等の条件を満たす必要があります。

授業料の50%(490,000円)と施設設備費の50%(160,000円)が減免されます。

学費	授業料	490,000円(50%減免後)
	施設設備費	160,000円(50%減免後)
諸会費等	学生会費	5,000円
	いしずゑ会費	10,000円
	学外宿泊キャンプ費	10,000円
2～4年次学納金		675,000円/年

特待減免 2～4年次の成績最優秀者

各年次で最大2名。前年度履修した単位数、成績、教員推薦等の条件を満たす必要があります。

授業料の50%(490,000円)と施設設備費の100%(320,000円)が減免されます。

学費	授業料	490,000円(50%減免後)
	施設設備費	0円(100%減免後)
諸会費等	学生会費	5,000円
	いしずゑ会費	10,000円
	学外宿泊キャンプ費	10,000円
2～4年次学納金		515,000円/年

■参考 日本人学生の1年次学納金

学費	入学金	200,000円	諸会費等	学生会費	5,000円
	授業料	980,000円		いしずゑ会費	10,000円
	施設設備費※	240,000円		学外宿泊キャンプ費	10,000円
1年次学納金		1,445,000円/年			

※施設設備費(1,200,000円)は1年次(240,000円)、2～4年次(各320,000円)の分割納入になります。

さまざまな留学生支援制度

神田外語大学では、留学生の方からの相談を総合的に受け付けています。

入学許可制度

一般的に大学に留学する場合、学費などの経済面を保証する債務保証人が必要になりますが、本学では、債務保証人がいなくても留学生の入学を許可します。

機関保証人制度

日本で民間アパートを借りる場合、保証人が必要となります。本学では大学が保証人となる機関保証人制度をとっています。(大学が保証人になる場合、留学生は1年契約で4,000円、2年契約で8,000円の住宅総合保険加入料を支払う必要があります。)

在留審査手続きサポート

多くの留学生は、在学中に在留資格の更新手続きが必要になります。本学では、在留審査手続きに関する説明会を実施し、申請書類作成や提出のサポートをします。



在学生の声

Interview

※掲載内容は取材時のものです。

留学生



中国

チン・ソ

将来は日本で通訳の仕事がしたいです。

中国で専門学校を卒業した後、日本に来ました。日本の恋愛ドラマやアニメが好きで、日本語や文化に興味をもちました。初めて日本に来た日、大好きな桜が咲いていて、感動したのを覚えています。神田外語大学を選んだのは、日本語以外にもさまざまな外国語を学べるからです。今は日本語と英語を中心に学んでいます。特に英会話の授業は、先生と直接コミュニケーションを取れるので嬉しいです。授業では、日本語のレポートを書くこともあります。大学にある日本語ライティングセンターでサポートしてもらえるので安心ですね。おかげで日本語の読み書きが自由にできるようになりました。神田外語大学は施設も充実していて、自由に使える学習スペースもたくさんあります。今後は広東語や韓国語に挑戦したり、通訳や翻訳の授業にも力を入れて、将来は日本で通訳として働きたいです。初めて日本に来る外国人の方のサポートができればと思います。

いろいろな国の留学生や日本人の友人ができました。

韓国の大学を兵役で休学した後、日本の大学で学ぶことを決意しました。神田外語大学は実力に合わせてクラス分けをするなど、一人ひとり丁寧に指導してもらえます。英語と日本語を同時にレベルアップできるのも魅力です。特に通訳の授業で日本語、英語、韓国語を使えるのが面白いです。また、1年生の時は、8号館のEnglish Loungeに毎日のように通いました。そこではEnglish Onlyなので、英語力がアップしました。アメリカやポーランドからの留学生、日本人学生の友達もたくさんできました。日本人学生は留学生に対しても気軽に話しかけたり、分け隔てなく接してくれるので、すぐに馴染めました。将来のことはまだ決めていませんが、日本人に韓国語を教えるアルバイトをしており、その仕事にもやりがいを感じていますし、自分でビジネスをやることにも興味があります。何をするにしても、語学力を活かして日本と韓国の懸け橋になりたいです。

留学生



韓国

イ・ジョンウォン

留学生



ベトナム

レ・ティ・ハイン

MULCでいろいろな国の学生と交流しています。

日本のアニメが好きで日本に興味をもちました。留学したいと親に相談したところ、「日本なら安心」と賛成してくれました。神田外語大学は、先生と学生の距離が近いところがいいですね。先生は一人ひとりを気にかけてくださいますし、親しみやすく、授業中も「大丈夫ですか？」と声をかけてくださいます。グループワークも好きです。授業以外の時もみんなで連絡を取り合い、協力しあって課題に取り組みます。すぐに仲良くなれますし、コミュニケーションの取り方が出身国によって違うので、学ぶことが多いです。また、7号館のMULC(マルク)にはベトナム語エリアもあり、ベトナム語を学びたい人が集まってくるので、ベトナムの文化や言葉を教えたりしています。日本で母語が話せるのは嬉しいです。また、大学にはキャリアデザインの授業もあり、ここで将来に向けた相談もできるのが心強いです。大学を卒業したら、日本とベトナムを繋ぐ仕事に就きたいです。

日本人学生



国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーション専攻

田嶋うらら

さまざまな国の学生と交流できるのが楽しいです。

私が神田外語大学に入学した一番の理由は、英語のコミュニケーション能力を上げたかったからです。しかし入学後、必修科目でクラスメイトになった留学生から中国語を覚えてもらうなど、興味の幅が広がっていきました。広東語の授業では、中国からの留学生たちが中国各地域の方言や文化、体験を教えてくれたことも印象深い思い出です。神田外語大学には日本人学生と留学生が関わる機会やイベントも多くあります。私が実際に『KUIS Welcome Team』という活動に参加した際

には留学生を空港まで迎えに行き、日本での生活のアドバイスをしたり、楽しくお話をしました。留学のスタートから学生同士の関わりがあることも魅力のひとつだと思います。神田外語大学は、さまざまな地域の言語を学ぶ学生がいるので、異文化コミュニケーションを学ぶのにおすすめの環境です。みなさんもぜひ神田外語大学で国際色豊かな学生生活を送ってください。

コミュニケーション学習の すべてをフォローする施設

コミュニケーション学習の新しいかたちを実現した教育施設です。語学学習を多角的にフォローするのはもちろん、語学力を伸ばすために不可欠な「自分のやり方」を見つけるためのサポートがあることも大きな特徴です。



6号館

グローバル化と情報化社会の時代を生き抜くために必要な、語学とITの運用能力を効果的に高める、きめ細かな個別指導を実現した複合自立学習センターです。

1F

PC、AVなどの最新鋭機器を自由に活用。 表現する力、発信する技術を養う総合メディア空間。

学生の創造力と発信力を育てる総合メディア施設。授業で培った外国語の運用能力を、最新鋭機器を使って、ひとつの形として表現・発信する知識と技術を養います。マルチメディアを駆使したプレゼンテーション能力を育成します。

メディアプラザ

PC主流の時代性を見据えた
メインフロア

WindowsとMacintoshが自由に使えるPCエリア。レポート作成、インターネット、メールなど気軽に利用できます。



プロダクションルーム

創造力を形にする工程を
フルサポート

Macintosh、大型液晶プロジェクター、サラウンドシステムを設置。映像編集からウェブデザインまで、クリエイティブワークをサポートします。



プレゼンテーションルーム

AV機器を活用して
プレゼンテーションを実践

液晶プロジェクターとサラウンドシステムを駆使することで、より効果的なプレゼンテーションスキルの育成をめざします。



バーチャルスタジオ

プロ仕様の機材で
学生の創作意欲をサポート

映像・音声収録ブース、編集室を併設した総合スタジオ。VTRカメラやモニター、照明などはTV局と同等クラスの機材で、ハイクオリティな映像制作が可能です。



マルチパーパスルーム

多目的に対応する
多機能な個室

少人数でのグループワークに適した防音個室。AV機器を備え、目的に応じたさまざまな利用が可能です。



2F

Academic Success Center (アカデミックサクセスセンター)

学生がさまざまな学びの場で、Success(成功)していくためには、しっかりと理解に基づく英語および日本語の力が不可欠という考えのもと、当センターでは英語および日本語に関連する多様な学習機会を提供しています。



日本語ライティングセンター

日本語ライティングセンターは、学生の「書く力」を伸ばすために、「マンツーマン・ライティング」「ワークショップ」を実施しています。マンツーマン・ライティングは、レポート、卒業論文、就職活動関連の文章等、文章作成に関することなら、どのような相談にも対応しています。そのほかにも、これらの領域に関連した教育プログラム、ワークショップ、イベントなどを随時運営・開催しています。「森」をイメージした、温かく落ち着いたフロアで、在学生をサポートします。



海外衛星放送受信設備

海外のテレビ放送で世界の「今」を実感

大型パラボラアンテナで、CNN、BBCなど各国の衛星放送を受信。6号館1Fのマルチパーパスルームやメディアプラザ内のPC、7号館2F MULCなどで、リアルタイムに視聴できます。



7号館



多文化世界理解へ新たなアプローチ

7号館は「グッドデザイン賞」を受賞したユニークな教育施設です。1階に図書館、2階に疑似留学空間MULC（マルク）、3階にカフェを設置。ここには、神田外語大学が考える「言葉と文化」の新しい学習・研究のアイデアが盛り込まれています。建物の周りには地下水を利用した水が流れ、屋上から地上まで天然芝のスロープが続くなど、環境に配慮した数々の工夫を凝らしています。

1F

附属図書館

ガラスのファサードを通り抜け図書館に入れば、300席の閲覧スペースが広がっています。ここは、「楽しんで学ぶ」をテーマにした図書館です。AVコーナー、グループ閲覧室や情報検索コーナーも充実。これらの資料や設備を活用しながら、居心地のよい環境のなかで自分の勉強を組み立てていきます。



3F

KUISカフェ

ここは屋内外合わせて約200席の、ゆったりとしたくつろぎの空間。眼下のイングリッシュ・ガーデンは、春には花々が咲き乱れ、屋外のテラスに出れば、そのまま屋上庭園へ導かれていきます。屋上庭園では食事をとることもできるので、友だち同士で楽しくおしゃべりしたり、勉強の合間に休憩したりするのもぴったりです。



2F

MULC 他言語コミュニケーションセンター (Multilingual Communication Center)

現地を旅し留学する感覚を味わいながら、言語と文化を学ぶユニークな空間、それがMULC（マルク）。7つの言語エリアには、各々の生活文化を代表する街並みや建物が再現されています。これらは綿密な調査をし、現地の素材を最大限に使い、現地の職人の手で作りあげられたもの。異文化に対する敬意を形にしたスペースです。



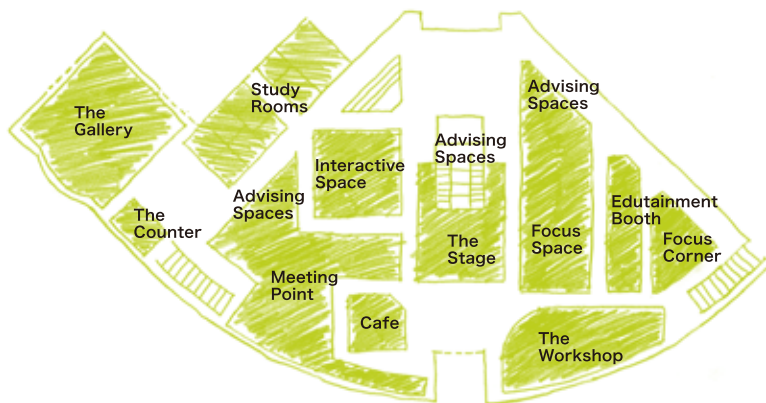
8号館

学びたいときに学べる、話したいときに話せる。 言葉をいつでも自由に磨ける コミュニケーション空間。

英語の運用能力を高めるためにデザインされた8号館は、
専任のラーニングアドバイザーが学生一人ひとりに合った学習法をアドバイスし、
英語の自立学習をサポートする「SALC」(サルク:Self-Access Learning Center)、
英語教育の専門家組織「ELI」(イーエルアイ:English Language Institute)教員が常駐するEnglish onlyのエリアなど、
学生のさまざまなニーズに応える設備が整っています。
外国語での高度なコミュニケーション能力とともに、国際感覚も養います。

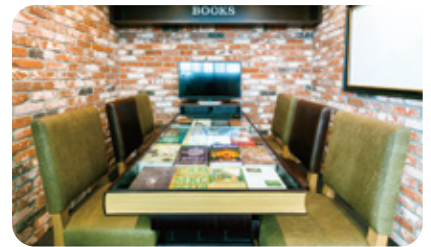


1F



Study Rooms

11部屋あるスタディ・ルームは、それぞれ内装のテーマが異なります。目的に合わせて個人やグループでの学習に利用できます。



The Gallery

入口のギャラリーでは、8号館で行われるイベント情報や、英語の授業で作ったポスターなどを展示。留学生が日本文化のプレゼンテーションを行うことも。



The Counter

SALCer (SALCの学生スタッフ)が図書の貸し出しや、SALCの案内などを英語で行います。ALL Englishなので、英語で話しかけてください。



Advising Spaces

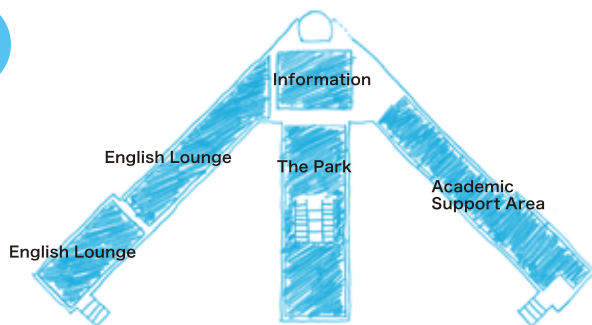
ラーニングアドバイザーの先生から学習のアドバイジングを受けられます。自分に合った英語の学習方法や教材などを教えてもらえます。





英語教育のプロフェッショナル、ELI教員とSALC・ラーニングアドバイザー。
外国語としての英語教育の修士・博士号学位をもつ教員たちが、授業以外でも学生をサポートします。

2F



English Lounge

ソファとローテーブルが並びオシャレなエリアは配置にひと工夫も。ELI教員や留学生と英語で会話が楽しめる空間です。



Information

CLUEやモノポリーといった英語のボードゲームがあり、留学生とゲームをしながら英語でのコミュニケーションを楽しみます。



The Park

ニューヨーク・マンハッタン観光名所「ハイライン」をイメージしたリラックススペース。オープンな雰囲気の中で、自然と会話も弾みます。



Academic Support Area

さまざまなテーマで、自分の考えを英語で伝える。真意が伝わらなければ、伝え方を変えてみる。そんな実践を英語教員を相手に試す場であり、コミュニケーション能力を磨く場でもあります。



The Stage

ステージと階段状の座席を使ってプレゼンテーションのワークショップなどが行われます。



Interactive Space

オープンなスペースは学生にも大人気。ホワイトボードのスペースではグループワークや、学生同士の勉強会が行われることもしばしば。



Cafe

留学経験のあるスタッフが英語で接客。コーヒーやホットドッグなどの軽食も販売されていて、ちょっとした休憩に最適です。



Meeting Point

飲み物を片手に雑誌を読んだり、友だちと雑談できる、くつろぎのスペースです。



Focus Space

パソコンはすべて英語仕様。レポートの作成などにも便利です。



Edutainment Booth

こぢんまりとした、落ち着いたスペースで映画のDVDを見たり、DVDのスク립トなどの教材を使って、リスニングの勉強もできます。



Focus Corner

静かに学習や読書ができるスペースです。



The Workshop

ワークショップが行われる、気持ち良い陽が射す全面窓のエリア。木の温かさの中に鉄を用いた、今流行のブルックリンスタイルの家具が際立ちます。



2024年度外国人留学生選抜入学試験

入学試験実施日・会場

2023年11月24日(金) 会場:神田外語大学

選考方法

(1)書類審査

※日本語能力試験(JLPT)の資格をもつ者については、内容に応じて加点の対象とします。(受験している場合のみ証明書のコピーを提出)

※日本語学校等の出席率を重視します。

※以下の英語資格は書類審査の参考とします。(受験している場合のみ証明書のコピーを提出)

・TOEIC® L&R ・TOEFL iBT® ・実用英語技能検定

(2)日本語試験(90分:記述式)

※日本留学試験(EJU)の「日本語」の試験結果を合否判定に使用します。

募集学部・学科・専攻・人員

外国語学部 国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーション専攻 約20名

出願条件

●外国籍を有し、外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または2024年3月31日までに修了見込みの者

●2022年6月、2022年11月、2023年6月、2023年11月いずれかの日本留学試験(EJU)の「日本語」を受験した者、または受験する予定の者

その他、出願条件に関してはアドミッション&コミュニケーション部までお問い合わせください。

入学検定料

35,000円

合格発表日

2024年1月12日(金)

合格発表は本学ウェブサイトにて行います。
また、合格者には合格通知等を1月12日(金)に発送します。
(到着は1月13日(土)以降)

入学手続期間

2024年1月13日(土)～1月29日(月) 締切日消印有効

入試結果

年度	募集人員	志願者	受験者	合格者	実質倍率
2023	20	31	27	19	1.4
2022	20	27	26	21	1.2
2021	20	48	42	23	1.8

出願期間

2023年10月5日(木)～10月17日(火)

※日本国外から出願書類を送付する場合は、EMS(国際スピード郵便)を利用し、10月17日(火)必着で送ってください。
出願期間を過ぎて届いた書類は受理できません。

出願書類

志願者全員が提出するもの

1. 入学志願書(本学所定書式)
2. 入学志願票(本学所定書式)
3. 志望理由書(本学所定書式)
4. パスポートのコピー
5. 日本留学試験(EJU)「日本語」の成績確認書のコピー
(2023年11月の受験予定者は受験票のコピー)
6. 最終学歴校の卒業証書のコピー
または卒業(見込)証明書のコピー
7. 最終学歴校の成績証明書のコピー
8. 日本語学校、専門学校、別科、
大学・短期大学等の成績証明書の原本
9. 日本語学校、専門学校、別科等の出席証明書の原本

該当者のみ
提出するもの

・最終学歴校等からの推薦書
日本国内の学校に在籍していない者
出席率を含む証明書の提出ができない者

・準備教育課程修了(見込)証明書の原本および
成績証明書の原本
準備教育課程修了(見込)者

・語学検定試験の証明書のコピー
日本語能力試験、TOEIC® L&R、TOEFL iBT®、
実用英語技能検定を受験したことがある者

入学選抜要項および出願書類は、本学ウェブサイトからダウンロードしてください。
出願の際は、必ず入学選抜要項で詳細を確認してください。

お問い合わせ先 **神田外語大学アドミッション&コミュニケーション部**

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988

Reduction of tuition and fees for International Students

Financial Aid that all International Students are eligible for as well as three types of Tuition and Fee Reduction Programs designed by KUIS.

*These programs are not applicable for students with scholarships from their governments or Japanese government scholarships or those who fail to be promoted to the next academic year.

KUIS Tuition and Fee Reductions for ALL International Students 1st to 4th year

A 50% reduction of the tuition (¥490,000) and an ¥80,000 reduction from the facility fees of 2nd to 4th grade year students

School fees	Entrance fee*	¥200,000
	Tuition	¥490,000 (50%reduction)
	Facility fees	¥240,000 (reduction)
Membership fees	Student Association	¥5,000
	Alumni Association	¥10,000
	Overnight Camp	¥10,000
Total expenses for 1st year students (incl. starred items)		¥955,000 / year
Total expenses for 2nd to 4th year students		¥755,000 / year

KUIS Tuition and Fee Reductions for Academic Excellence 2nd to 4th year students with outstanding academic performance

Up to six grants are available each year. Selection is based on grades, the number of credits received in the previous year, and teacher recommendations.
A 50% reduction of the tuition (¥490,000) and a 50% reduction of the facility fees (¥160,000)

School fees	Tuition	¥490,000 (50%reduction)
	Facility fees	¥160,000 (50%reduction)
Membership fees	Student Association	¥5,000
	Alumni Association	¥10,000
	Overnight Camp	¥10,000
Total expenses for 2nd to 4th year students		¥675,000 / year

KUIS Scholarship for Students with the Highest Grades 2nd to 4th year students with the highest grades

Up to two grants are available each year. Selection is based on grades, the number of credits received in the previous year, and teacher recommendations.
A 50% reduction of the tuition (¥490,000) and a 100% reduction of the facility fees (¥320,000)

School fees	Tuition	¥490,000 (50%reduction)
	Facility fees	¥0 (100%reduction)
Membership fees	Student Association	¥5,000
	Alumni Association	¥10,000
	Overnight Camp	¥10,000
Total expenses for 2nd to 4th year students		¥515,000 / year

■ for reference: Japanese student total fees for the first year (regular)

School fees	Entrance fee	¥200,000	Membership fees	Student Association	¥5,000
	Tuition	¥980,000		Alumni Association	¥10,000
	Facility fees	¥240,000		Overnight Camp	¥10,000
TOTAL		¥1,445,000 / year			

Various international student support systems

Admissions System

Generally, study at a university abroad requires you to have a guarantor to assure your financial circumstances such as tuition payments. We can grant admission to international students without a guarantor.

Institutional Guarantor System

You need to have a guarantor to rent a private apartment in Japan. With our Institutional Guarantor System, we are able to serve as your guarantor. (You are required to pay the housing insurance premiums: 4,000 yen for one-year insurance or 8,000 yen for two-year insurance.)

Support for Evaluation of Visa

Most overseas students have to renew their visas while staying in Japan. Our school provides an orientation for renewing visas and also supports the preparation and submission of documents.

Entrance Examination for International Students 2024

Number of Students to Be Admitted

Faculty of Foreign Languages,
Department of International Communication,
International Communication Major 20 students

Requirements for Admission

- The applicant must be a non-Japanese citizen and must have completed 12 years of school education outside Japan by March 31, 2024.
- The applicant must have taken the Japanese as a Foreign Language section of the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU) given in either June 2022, November 2022, June 2023 or November 2023.

For further details on admission requirements, please contact the Admissions, Marketing and Communication Division.

Application Fee

¥35,000

Period of Application

October 5 - October 17, 2023

If you would like to send an application form from overseas, please use EMS (international express mail service). Please ensure your mail arrives at our school before October 17, 2023 (Tuesday). Applications cannot be accepted after the deadline.

Date and Location of the Entrance Examination

November 24, 2023 at Kanda University of International Studies

Examination Procedure

- (1) Screening of academic records
- (2) Japanese language proficiency exam: Writing (90 minutes)

Announcement of Examination Results

Results will be available on the university website on January 12, 2024. Results will also be sent to accepted students by mail on January 12. These are expected to arrive on January 14 or later.

Entrance Procedures and Tuition Payment

January 13 - January 29, 2024

KUIS Admissions, Marketing and Communication Division

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988

留学生学杂费等减免制度

神田外语大学独自设立了全体留学生可以享受的学杂费减免等共三种减免制度。

※公费留学生与留级生不能享受下述减免。

留学生减免

1年级~4年级全体留学生

学费减免50%(490,000日元), 2~4年级设施设备费减免80,000日元。

学杂费	入学金※	200,000日元
	学费	490,000日元(减免50%后)
	设施设备费	240,000日元(减免后)
各种会费	校友会费	5,000日元
	同学会费	10,000日元
	研修住宿费	10,000日元
1年级全年需缴纳金额(包括※部分)		955,000日元
2年级~4年级每年需缴纳金额		755,000日元

优秀减免

2年级~4年级的成绩优秀者

根据前一年所取得学分、成绩和教员推荐,各年级最多可有6名得到减免。

学费减免50%(490,000日元),设施设备费减免50%(160,000日元)。

学杂费	学费	490,000日元(减免50%后)
	设施设备费	160,000日元(减免50%后)
	校友会费	5,000日元
各种会费	同学会费	10,000日元
	研修住宿费	10,000日元
	2年级~4年级每年需缴纳金额	

特别待遇减免

2年级~4年级的成绩最优秀者

根据前一年所取得学分、成绩和教员推荐,各年级最多可有2名得到减免。

学费减免50%(490,000日元),设施设备费减免100%(320,000日元)。

学杂费	学费	490,000日元(减免50%后)
	设施设备费	0日元(减免100%后)
	校友会费	5,000日元
各种会费	同学会费	10,000日元
	研修住宿费	10,000日元
	2年级~4年级每年需缴纳金额	

■参考:日本学生的学杂费(1年级)

学杂费	入学金	200,000日元	各种会费	校友会费	5,000日元
	学费	980,000日元		同学会费	10,000日元
	设施设备费	240,000日元		研修住宿费	10,000日元
1年级全年需缴纳金额			1,445,000日元		

各种各样的留学生支援制度

入学许可制度

一般进入大学留学时,需在学费等经济方面做担保的债务保证人,而本校没有债务保证人也许可留学生入学。

机关保证人制度

在日本租借民间住房时需要保证人。本校采取了大学作保证人的机关保证人制度。(若由大学担任保证人,留学生签1年合同需付4,000日元,签2年合同需付8,000日元的住宅综合保险费。)

帮助办理在留资格更新手续

大部分留学生留学期间需要更新在留资格。本校会举行关于在留资格审查的说明会,为填写和提交申请表提供帮助。

2024年度留学生选拔入学考试

录取学部·学科·专业·人数

外国语学部 国际交流学科
国际交流专业 约20名

报名条件

- 拥有外国国籍,并在国外已修完12年课程者(小学、中学各6年)或将于2024年3月31日以前修完12年课程教育者。
- 需参加过2022年6月或11月、2023年6月或11月中某一期的“日本留学考试(EJU)日语”。

有关其他报名条件请向本校宣传部咨询。

报考费

35,000日元

报名日期

2023年10月5日(星期四)~10月17日(星期二)

如果从外国邮寄申请文件(报名资料),请用EMS(国际快递)务必于10月17日(星期二)前送抵本校。之后到达者一概不予受理。

考试日期、地点

2023年11月24日(星期五) 地点:神田外语大学

选考方法

- (1) 书面审查
- (2) 日语考试(90分钟)

录取通知

2024年1月12日(星期五),在大学网站上公布录取结果。录取通知书在1月12日(星期五)邮寄给合格考生。(预计1月13日(星期六)以后可以签收)

入学手续日期

2024年1月13日(星期六)~1月29日(星期一)

问讯处 **神田外语大学宣传部**

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988

留學生學雜費等減免制度

神田外語大學獨自設立了全體留學生可以享受的學雜費減免等共三種減免制度。

※公費留學生與留級生不能享受下述減免。

留學生減免

1年級～4年級全體留學生

學費減免50%(490,000日圓)，2～4年級設施設備費減免80,000日圓。

學雜費	入學金※	200,000日圓
	學費	490,000日圓(減免50%後)
各種會費	設施設備費	240,000日圓(減免後)
	學友會費	5,000日圓
	同學會費	10,000日圓
各種會費	同學會費	10,000日圓
	研修住宿費	10,000日圓
1年級全年需繳納金額(包括※部分)		955,000日圓
2年級～4年級每年需繳納金額		755,000日圓

優秀減免

2年級～4年級的成績優秀者

根據前一年所取得學分、成績和教員推薦，各年級最多可有6名得到減免。

學費減免50%(490,000日圓)，設施設備費減免50%(160,000日圓)。

學雜費	學費	490,000日圓(減免50%後)
	設施設備費	160,000日圓(減免50%後)
各種會費	學友會費	5,000日圓
	同學會費	10,000日圓
	研修住宿費	10,000日圓
2年級～4年級每年需繳納金額		675,000日圓

特別待遇減免

2年級～4年級的成績最優秀者

根據前一年所取得學分、成績和教員推薦，各年級最多可有2名得到減免。

學費減免50%(490,000日圓)，設施設備費減免100%(320,000日圓)。

學雜費	學費	490,000日圓(減免50%後)
	設施設備費	0日圓(減免100%後)
各種會費	學友會費	5,000日圓
	同學會費	10,000日圓
	研修住宿費	10,000日圓
2年級～4年級每年需繳納金額		515,000日圓

■參考：日本學生的學雜費（1年級）

學雜費	入學金	200,000日圓	各種會費	學友會費	5,000日圓
	學費	980,000日圓		同學會費	10,000日圓
	設施設備費	240,000日圓		研修住宿費	10,000日圓
1年級全年需繳納金額				1,445,000日圓	

各種各樣的留學生支援制度

入學許可制度

一般進入大學留學時，需在學費等經濟方面做擔保的債務保證人，而本校沒有債務保證人也許可留學生入學。

機關保證人制度

在日本租借民間住房時需要保證人。本校採取了大學作保證人的機關保證人制度。（若由學校擔任保證人，留學生簽1年合同需付4,000日圓，簽2年合同需付8,000日圓的住宅綜合保險費。）

幫助辦理在留資格更新手續

大部分留學生留學期間需要更新在留資格。本校會舉行關於在留資格審查的說明會，為填寫和提交申請表提供幫助。

2024年度留學生選拔入學考試

錄取學部・學科・專業・人數

外國語學部 國際交流學科
國際交流專業 約20名

報名條件

- 擁有外國國籍，並在國外已修完12年課程者(小學、中學各6年)或將於2024年3月31日以前修完12年課程教育者。
- 需參加過2022年6月或11月、2023年6月或11月中某一期的“日本留學考試(EJU)日語”。

有關其他報名條件請向本校宣傳部諮詢。

報名費

35,000日圓

報名日期

2023年10月5日(星期四)～10月17日(星期二)

如果從外國郵寄申請文件(報名資料)，請用EMS(國際快遞)務必於10月17日(星期二)前送抵本校。之後到達者一概不予受理。

考試日期，地點

2023年11月24日(星期五) 地點：神田外語大學

選考方法

- (1) 書面審查
- (2) 日語考試(90分鐘)

錄取通知

2024年1月12日(星期五)，在大學網站上公佈錄取結果。錄取通知書在1月12日(星期五)郵寄給合格考生。(預計1月13日(星期六)以後可以簽收)

入學手續日期

2024年1月13日(星期六)～1月29日(星期一)

問訊處 **神田外語大學宣傳部**

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988

유학생 학비 등 감면제도

유학생 전원이 지급 받을 수 있는 것을 기본으로, 간다외어대학에서는 독자적으로 유학생용 수업료 등의 면제 제도를 3종류 준비해 놓고 있습니다.

*국비 유학생 및 유급자는 대상에서 제외됩니다.

유학생감면

1~4년차전원

수업료의 50%(490,000엔)와 2~4년차의 시설비비 80,000엔이 감면됩니다.

학비	입학비*	200,000엔
	수업료	490,000엔(50%감면후)
사회비	시설비비	240,000엔(감면후)
	학생회비	5,000엔
	연수비	10,000엔
1년차납입금(*포함)		955,000엔/년
2~4년차납입금		755,000엔/년

우수감면

2~4년차의 성적우수자

전년도에 이수한 학점수, 성적, 교직원 추천에 의해 각 학년별로 최대 6명이 대상이 됩니다. 수업료의 50%(490,000엔)와 시설비비의50%(160,000엔)가 감면됩니다.

학비	수업료	490,000엔(50%감면후)
	시설비비	160,000엔(50%감면후)
사회비	학생회비	5,000엔
	동창회비	10,000엔
	연수비	10,000엔
2~4년차납입금		675,000엔/년

특대감면

2~4년차의 성적최우수자

전년도에 이수한 학점수, 성적, 교직원 추천에 의해 각 학년별로 최대 2명이 대상이 됩니다. 수업료의 50%(490,000엔)와 시설비비의100%(320,000엔)가 감면됩니다.

학비	수업료	490,000엔(50%감면후)
	시설비비	0엔(100%감면후)
사회비	학생회비	5,000엔
	동창회비	10,000엔
	연수비	10,000엔
2~4년차납입금		515,000엔/년

■참고: 일본인 학생의 1년차 납입금

학비	입학비	200,000엔	사회비	학생회비	5,000엔
	수업료	980,000엔		동창회비	10,000엔
	시설비비	240,000엔		연수비	10,000엔
1년차납입금		1,445,000엔/년			

다양한 유학생지원 제도

입학 허가 제도

일반적으로 일본 대학에 입학할 경우, 학비등의 경제적인 면을 보증하는 채무보증인이 필요하지만, 본교에서는, 채무보증인이 없어도 유학생의 입학을 허가합니다.

기관보증인(機關保證人)제도

일본에서 민간 맨션을 빌릴 경우, 보증인이 필요합니다. 본교에서는 대학이 보증인이 되는 기관보증인제도를 취하고 있습니다. (대학이 보증인이 될 경우, 유학생은 1년 계약으로 4,000엔, 2년 계약으로 8,000엔의 주택종합보험가입료를 지불할 필요가 있습니다.)

재류자격인정 심사 수속 서포트

유학생은 재학중에 재류기간의 갱신이 필요하게 될 경우가 있습니다. 본교에서는 재류 심사 수속에 관한 설명회를 실시하고, 신청 서류 작성이나 제출에 대해서 서포트를 합니다.

2024년도 외국인 유학생 선발입학시험

모집 학부·학과·전공·인원

외국어학부 국제커뮤니케이션학과
국제커뮤니케이션전공 약20명

응시 조건

- 외국적을 소유하고 외국에서 학교교육에서의 12년 과정을 수료한 자, 또는 2024년 3월 31일까지 수료 예정인 자.
 - 2022년 6월부터 2023년 11월까지의 일본유학시험(EJU)에서「일본어」를 수험한 적이 있는 자.
- 그 밖의 응시 조건에 관해서는 홍보부로 문의하여 주시기 바랍니다.

응시료

35,000엔

원서 접수기간

2023년 10월 5일(목)~10월 17일(화)

해외에서 출원할 경우는, EMS로 10월17일(화) 필착으로 보내 주십시오. 마감일을 지난 서류는 접수 되지 않습니다.

입학시험 실시일 및 시험장

2023년 11월 24일(금) 시험장: 간다외어대학

선발방법

- (1) 서류 심사
- (2) 일본어시험 (90분)

합격자발표

합격 결과는 2024년 1월 12일(금)에 대학교 웹사이트에서 발표합니다. 합격자에게는 합격 통지서를 1월 12일(금)에 발송합니다. (도착은 1월 13일(토) 이후)

입학수속기간

2024년 1월 13일(토) ~ 1월 29일(월)

문의처 **간다외어대학 홍보부**

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988

大学院

博士前期課程（修士課程）

博士後期課程（博士課程）

日本語学専攻

日本語学コース

日本語教育学コース

言語科学専攻

日本語や日本語教育に高度な専門知識でアプローチ

日本語学専攻

七つの特色

- 1 少人数授業と的確な研究指導
- 2 言語に関わる多彩な科目群と研究分野間の活発な交流
- 3 高度な理論を基礎とする言語学、言語教育の研究と実践
- 4 普遍性と個別性、両面からの問題解決力の育成
- 5 実践経験が積めるティーチングアシスタント制度
- 6 入学時から担任教員がきめ細かく指導
- 7 社会人、日本語教員、外国人留学生に対する各種入試制度

二つのコースについて

1 日本語学コース

本コースの柱の一つは、日本語の構造的特質を明らかにし、日本語の個性から言語の普遍性を解明していくことです。もう一つは方言をはじめとする変容・多様性に関する研究です。日本語の理論的追究と実態研究が相互補完し合った日本語研究を行うことができます。

日本語教育教員養成プログラム

日本語学コース、日本語教育学コース、いずれでもこのプログラムを学べます。単に専門性の高い日本語教員を養成するだけでなく、教育現場で他の日本語教員を指導し、先導的な立場で活躍できる日本語教育のプロフェッショナルを養成するプログラムです。

2 日本語教育学コース

日本語の教育に関する専門的な知識と技能を身につけ、国内外の日本語教育の専門家を育成します。日本語の習得と使用にかかわるさまざまな要因を解明し、言語習得をより効果的に促す教育理論を探究し、学習者のニーズや環境的制約に対応できる実践的な応用力を開発します。

目的にあわせた制度

1 「科目等履修生」制度

特定の分野の専門的な勉強をしたい方や、仕事と学業の両立を図りたい方のために、特定の科目だけを履修できる「科目等履修生」の制度があります。この制度で修得した単位は、正規の修士課程に入学した際、修了に必要な単位に含めることもできます。

2 「研究生」制度

すでに修士号を持っている方で、本学大学院で特定のテーマについて研究したい場合、「研究生」として大学院に入学し、指導教員の下で研究に没頭することができます。

神田外語学院（姉妹校） Kanda Institute of Foreign Languages

神田外語大学に編入学できる 専門学校です。

2024年4月より、2カレッジ制スタート！

神田外語学院は、ビジネス×デジタル×グローバル×コミュニケーションといった次代成長のキーワードとなる先進的な専門教育を深耕するため、学生視点に立った新たな学びの環境を整備します。「2カレッジ」では、企業や顧客、地域や国際社会と連動しながら、「ビジネスの力」と「言葉の力」で価値を創造し、社会を動かすことができるプロフェッショナル人材を養成していきます。

Business Communication College

【2年制課程】

- 国際ビジネスキャリア科
- 国際エアライン科
- 国際観光科
- 国際ホテル科
- デジタルコミュニケーション科
(2023年4月新設学科)
- グローバルコミュニケーション科
アントレプレナーシップコース

International Communication College

【2年制課程】

- 英語専攻科
- アジア／ヨーロッパ言語科
- フランス語コース
- スペイン語コース
- 中国語コース
- 韓国語コース
- インドネシア語コース
- ベトナム語コース
- タイ語コース

【1年制課程】

- 英語基礎養成科

◆「留学生特別入試」があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

神田外語学院 フリーダイヤル:0120-815-864 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/>

オンライン説明会

履修課程(カリキュラム)や入学試験、キャンパスライフなどについて、最新情報をみなさんにお届けします!

大学・入試概要説明、キャンパスツアー、質問コーナーなどをご用意します。

- 大学紹介ムービー上映
- キャンパスツアームービー
- カリキュラム・入試概要説明
- 質問コーナー

※開催日時・プログラムは変更となる可能性があります。 ※参加には申し込みが必要です。

開催日時は
神田外語大学ウェブサイトから
お申し込みください。



THE
日本大学ランキング
2023

総合

私立
大学中 **13位**

全大学中 **47位(タイ)**

教育充実度

私立
大学中 **3位**

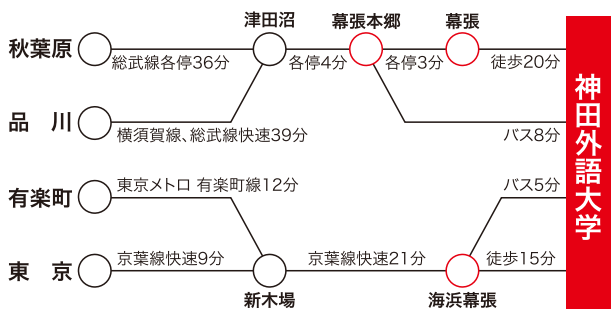
全大学中 **5位**

THE日本大学ランキング2023とは

英国の新聞社タイムズの教育専門誌Times Higher Education (THE)が発表するTHE世界大学ランキングの日本版。これまで見えにくかった日本の大学における「教育力」に焦点を当て、学生の学びの質や成長性に注目。「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野16項目を指標として、大学ランキングを作成した。「教育充実度」は、学生調査「教員・学生の交流、協働学習の機会」「授業・指導の充実度」「大学の推奨度」と、高等学校の進路指導教員の評判調査「グローバル人材育成の重視」「入学後の能力伸長」を集計。どれだけ教育への期待が実現されているかを表した。



アクセス



- JR京葉線「海浜幕張駅」下車、徒歩約15分
バス約5分(幕22系統) コロンブスシティ経由、
神田外語大学下車
- JR総武線「幕張駅」下車、徒歩約20分
- 京成電鉄「京成幕張駅」下車、徒歩約15分
- JR総武線・京成電鉄「幕張本郷駅」下車
バス約8分(幕22系統※・幕23系統) 神田外語大学下車

※幕22系統(幕張本郷発)は、時刻表に「◎または大学」と記載のある時間のみ神田外語大学に停車。



言葉は世界をつなぐ平和の礎
神田外語大学

お問い合わせ先

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

神田外語大学アドミッション&コミュニケーション部

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>